

# 義母と見つけた穴 場のラブホテル

昨晚のシャワーは

お尻のプリッと上がった茶髪の義母と  
一緒だった。

華奢な首筋。

胸元を寄せる。肉の大きなピンクのよう。

名前はエリカという。

外はいつになく寒くて、二人は服を脱ぎ  
たくなった。

狭い部屋で籠（こも）って過ごしていた  
が、義母と二人でシャワーを浴びること  
にした。

部屋の端っこには新しいベッド。

以前のベッドが夜の営みをしすぎて軋  
(きし)み、

木の足がボロボロになって使い物にな  
らなくなり近くの家具屋で新しいベッ

ドを購入し、

そこでずっと夜中、シックスナインをしている日々だ。

先にむっちむち義母がシャワーへ。

シャワーを浴びた義母はバスタオルをプラスチック脱衣カゴへ入れ、温いシャワーで濡れたほどよく膨らんだ胸を吹く。

おっばいが弾力あるものに成長している。

「ニュースで明日もずっと寒さが続くんだってさ……」

二人は残念そうに少し冷えたカラダを寄せ合う。



・・・・・・・・・・明日も外に出れないね。

次はディープキスを交わす。

部屋の隅っこまで裸で移動する俺たち。

既に少し前に俺はシャワーを浴びている。

終わった後ソファに座っている。

いつになく激しい営みだった。

時刻は夕方を過ぎ、窓の外は暗くなって  
昨日降った雪がほぼ見えない。

(体験版は以上になります。ご読了ありがとうございました)